

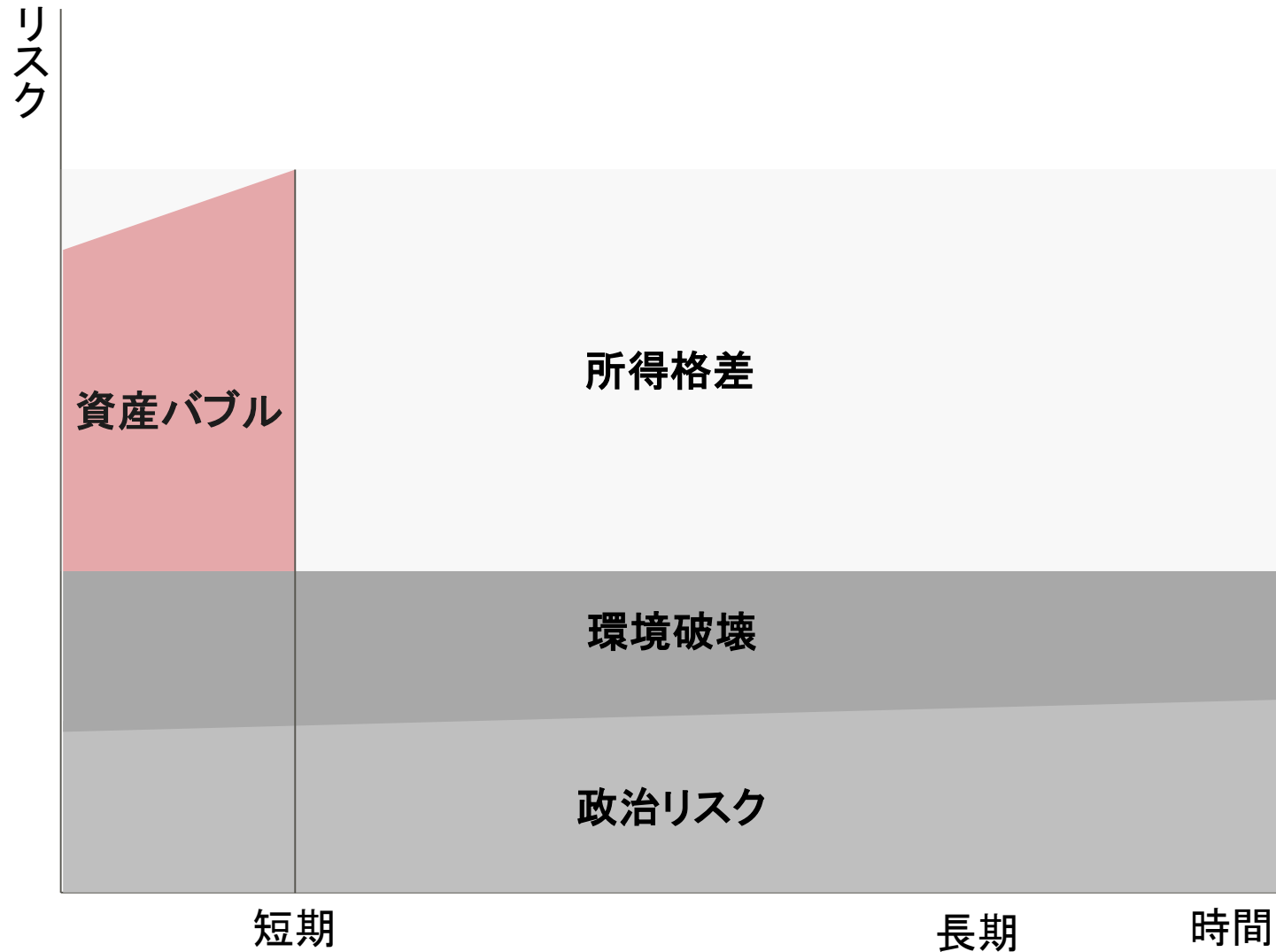
迷走する中国経済

富士通総研 主席研究員

柯 隆

2015年12月





- **総需要**: $Y = f(\text{投資})\uparrow + f(\text{輸出})\downarrow + f(\text{消費})?$
(投資と輸出に依存する「外向型発展モデル」)
- **総供給**: $Y = f(\text{資本})\uparrow + f(\text{労働})\downarrow + f(\text{生産性})?$
(人口増に依存する経済発展)

- 3月 全人代で7%成長の目標を採択
- 6月 上海株急落
- 8月 人民元の切り下げ
天津港大爆発
- 9月 軍事パレード
習近平国家主席訪米
- 10月 2020年までの成長目標を6.5%に引き下げ
- 11月 人民元のSDR入り

中国經濟主要指標(前年比、%)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015.1-6
實質GDP成長率	10.3	9.2	7.8	7.7	7.4	7.0
固定資本形成	23.8	23.6	20.6	19.6	15.7	11.4
不動產投資	33.2	27.9	16.2	19.8	10.5	5.7
小売総額	18.4	17.1	14.3	13.1	12.0	10.5
輸出	31.3	20.3	7.9	7.9	6.1	0.9
輸入	38.7	24.9	4.3	7.3	0.4	-15.5
消費者物価上昇率	3.3	5.4	2.6	2.6	2.0	1.3
都市部失業率	4.3	4.1	4.1	5.0	5.1	5.1

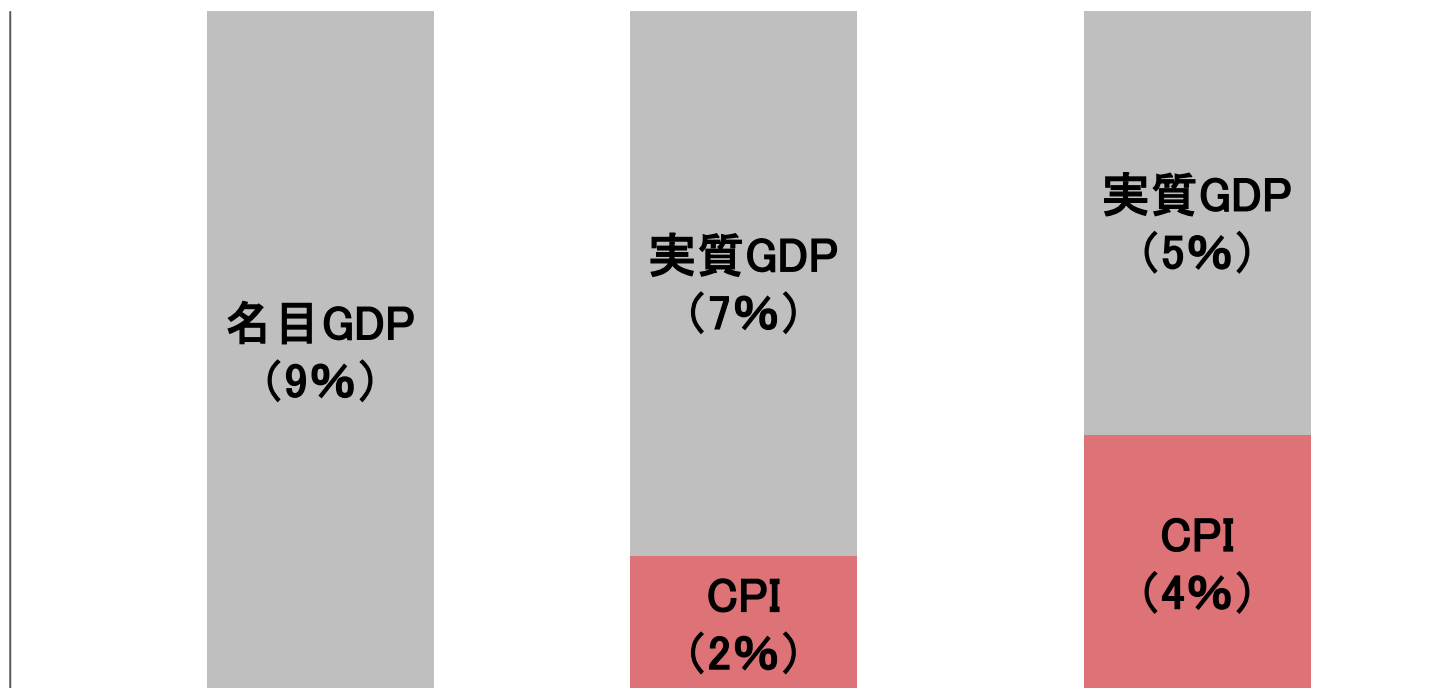
中国マクロ経済統計の信ぴょう性

- 1985年以前、国民所得統計：旧ソ連、東欧諸国から取り入れた物的生産物バラス体系 (MPS: A System of Material Product Balances)
- 1985年から、国連の国民勘定体系 (SNA: System of National Accounts) を導入、国内総生産統計
- **1993年、MPS方式による国民所得勘定 (国民所得) の作成を停止し、GDP (国民経済計算) が中心指標となる**
- 四半期GDP推計は、農業、鉱工業、建設業、運輸・通信、商業・飲食業、金融保険業、不動産とその他の8つの部分から構成される

- 従来、マクロ経済統計は、地方の統計局から報告される統計を中央の統計局が集計して計算されたもの。(県統計局→市統計局→省統計局→国家統計局)
国家統計局のGDP < Σ (省統計局のGDP)
- 経済の自由化にともない、統計報告制度が機能しなくなった。マクロ経済に占める私営企業、株式制企業、外資企業、華僑系資本、などは大きなウェイトを占めるようになった
- マクロ経済統計の報告・集計制度に代わり、国家統計局によるサンプリング調査・推計を開始。地方の統計局の推計を参考にするが、国家統計局の直接サンプル集計を実施し、統計精度の向上が図られた

- 産業部門分類が粗すぎる。一定規模以下の鉱工業サンプルが集計されていないため、産業部門別の統計精度が低い
- サービス業センサスがコンスタントに行われていないため、新しく発展してきたサービス業の多く(会計士、弁護士、情報サービス、民間教育・家庭教師など)が統計に十分に反映されていない
- 価格指数の整備が不十分である。とくに、サービス項目の価格指数が作成されておらず、たとえば、広告などのサービス業統計の実質化ができない
- サービス貿易価格指数が作成されていないため、サービス貿易は実質化されていない
- 未観測経済の捕捉・推計が不十分。未観測経済活動についてOECDによれば、オーストラリアが3%、イタリアが15%、ロシアが25%になっているといわれている。中国の未観測経済は少なくとも20%以上に上るとの見方があるが、定かではない

GDP統計改ざんのやり方



実質GDP = 名目GDP - CPI(食品)

中国消費者物価指数の構成

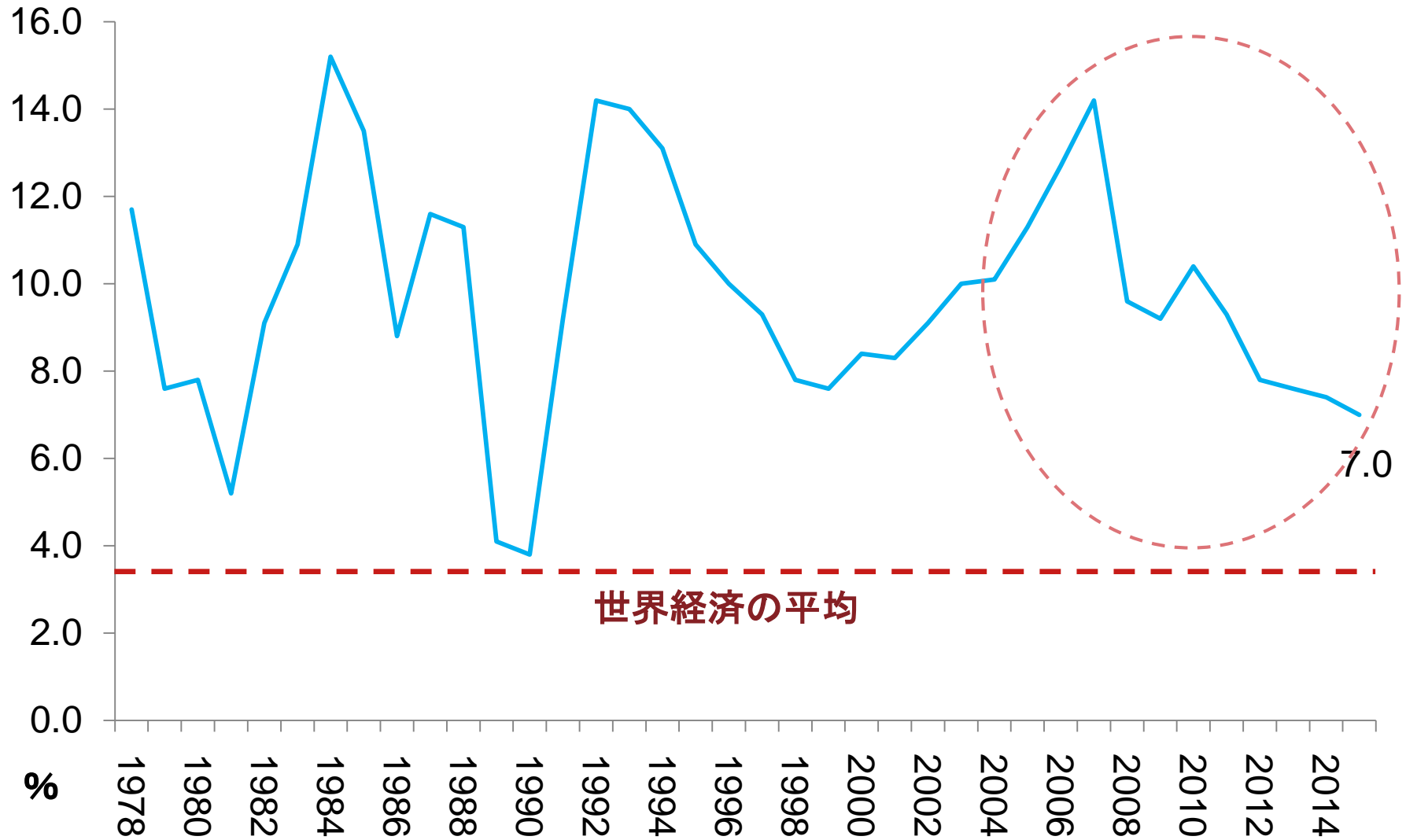
項目	ウェイト
食費	34%
娯楽・教育・文化および関連のサービス	14%
住居費	13%
交通・通信費	10%
医療保健	10%
衣服	9%
家電などの家庭用設備および関連のサービス	6%
酒タバコ類	4%

過小評価

過小評価

- 中国国家统计局：GDP統計に信ぴょう性がある
- Douglas-WestwoodのSteve Kopits：中国の実質GDP伸び率は0-3%
- 北京大学HSBCビジネススクールのChristopher Balding：不動産価格と消費者物価が過小評価されているため、GDPが過大評価されている
- イギリスのCapital EconomicsのJulian Evans-Pritchard：実際の経済成長率は中国政府の公式統計より1-2ポイント低いはず
- アメリカのRhodium GroupのDaniel Rosen：国民勘定体系において不動産取引集計が不十分だったため、GDPが過小評価されている
- 中国外貨投資研究院：ECの消費がGDP統計に十分に反映されていない、銀行の不良債権が過小評価されているため、貸出が過大評価されている、海外での爆外は輸入を圧迫している

中国の奇跡(実質GDP伸び率)

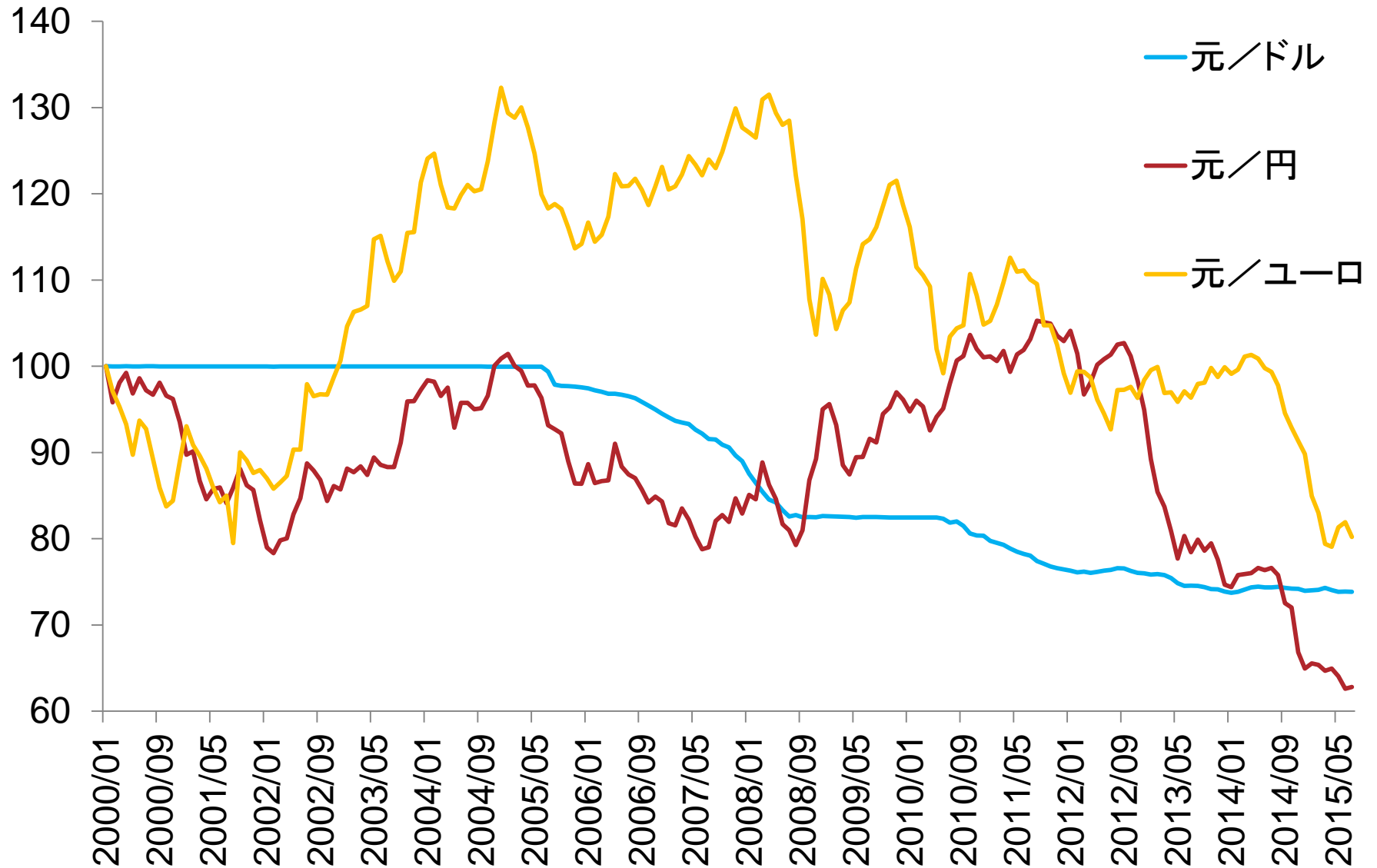


実質GDP伸び率と李克強指数

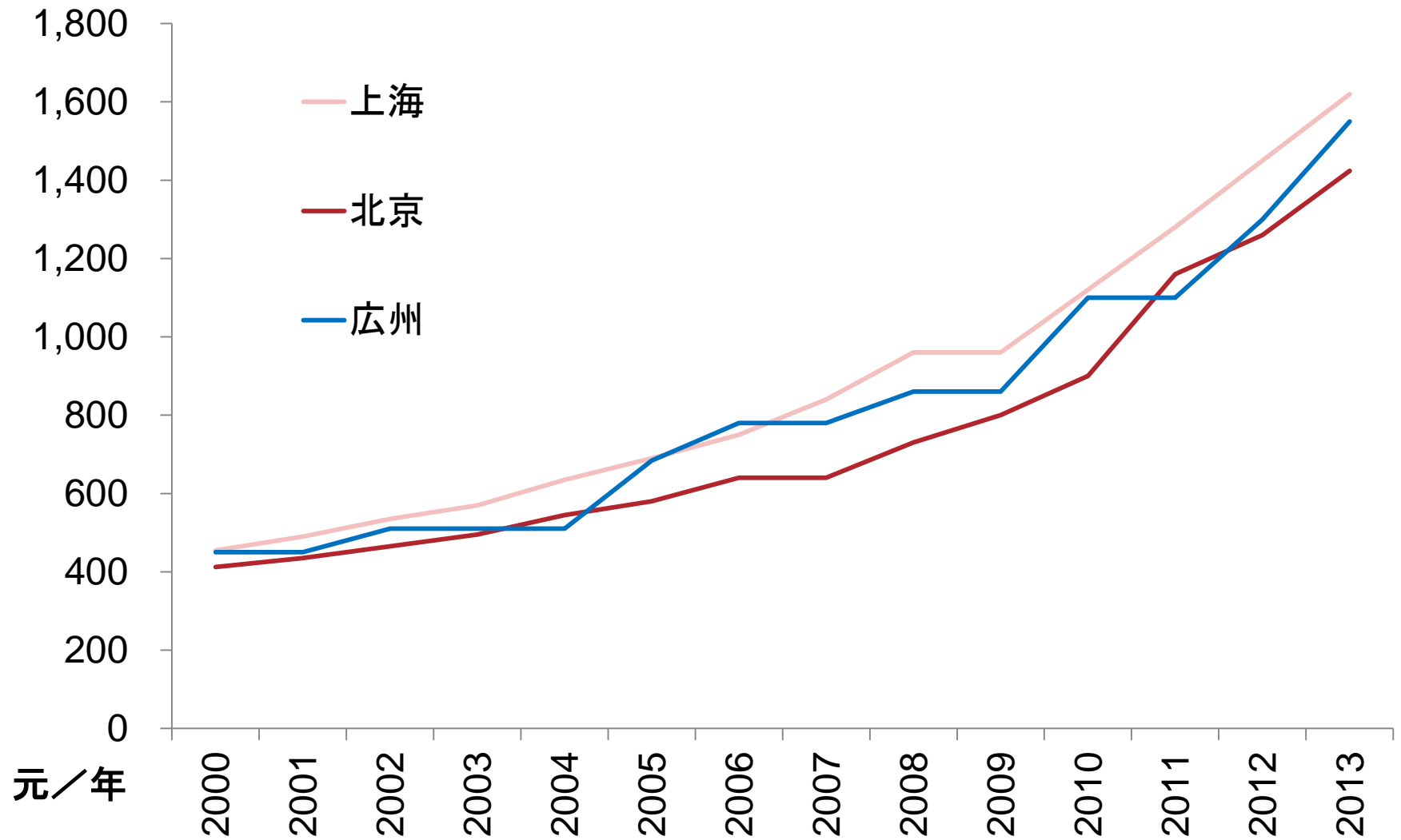


注: 李克強指数 = (鉄道貨物輸送量伸び率 × 25%) + (電力消費量伸び率 × 40%) + (銀行融資残高伸び率 × 35%)

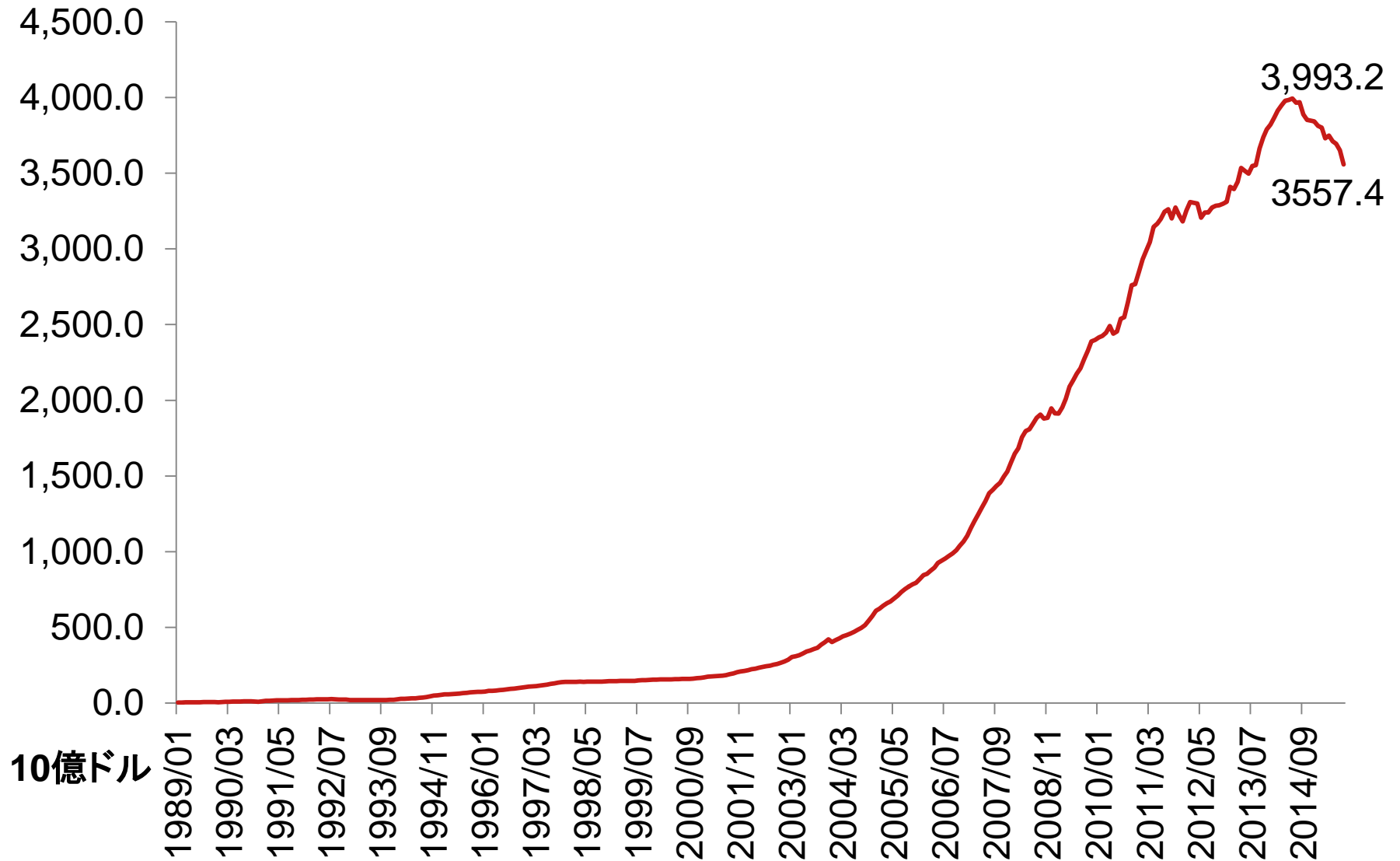
人民元の切り上げ(2000年1月=100)



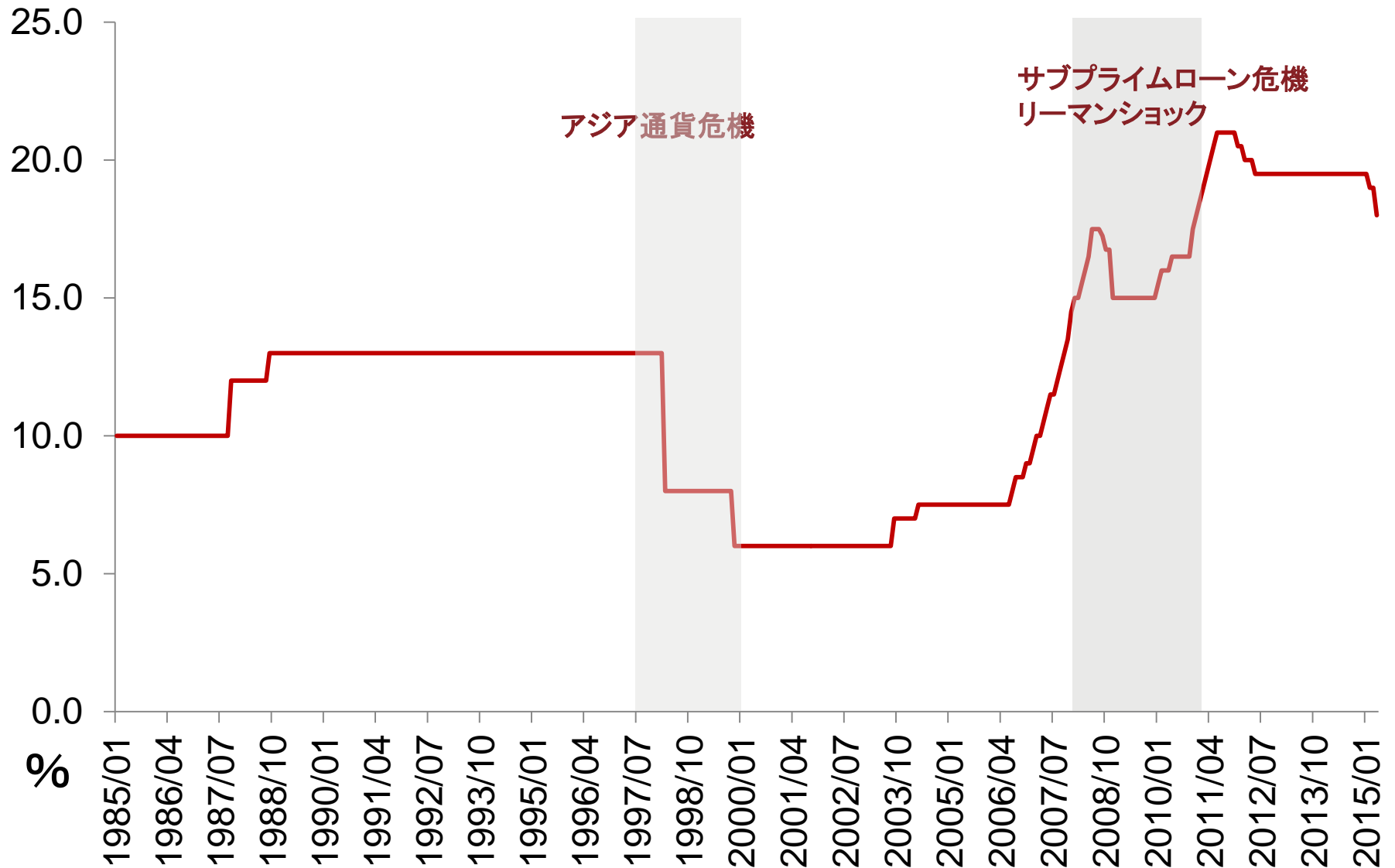
北京、上海と広州の最低賃金の上昇



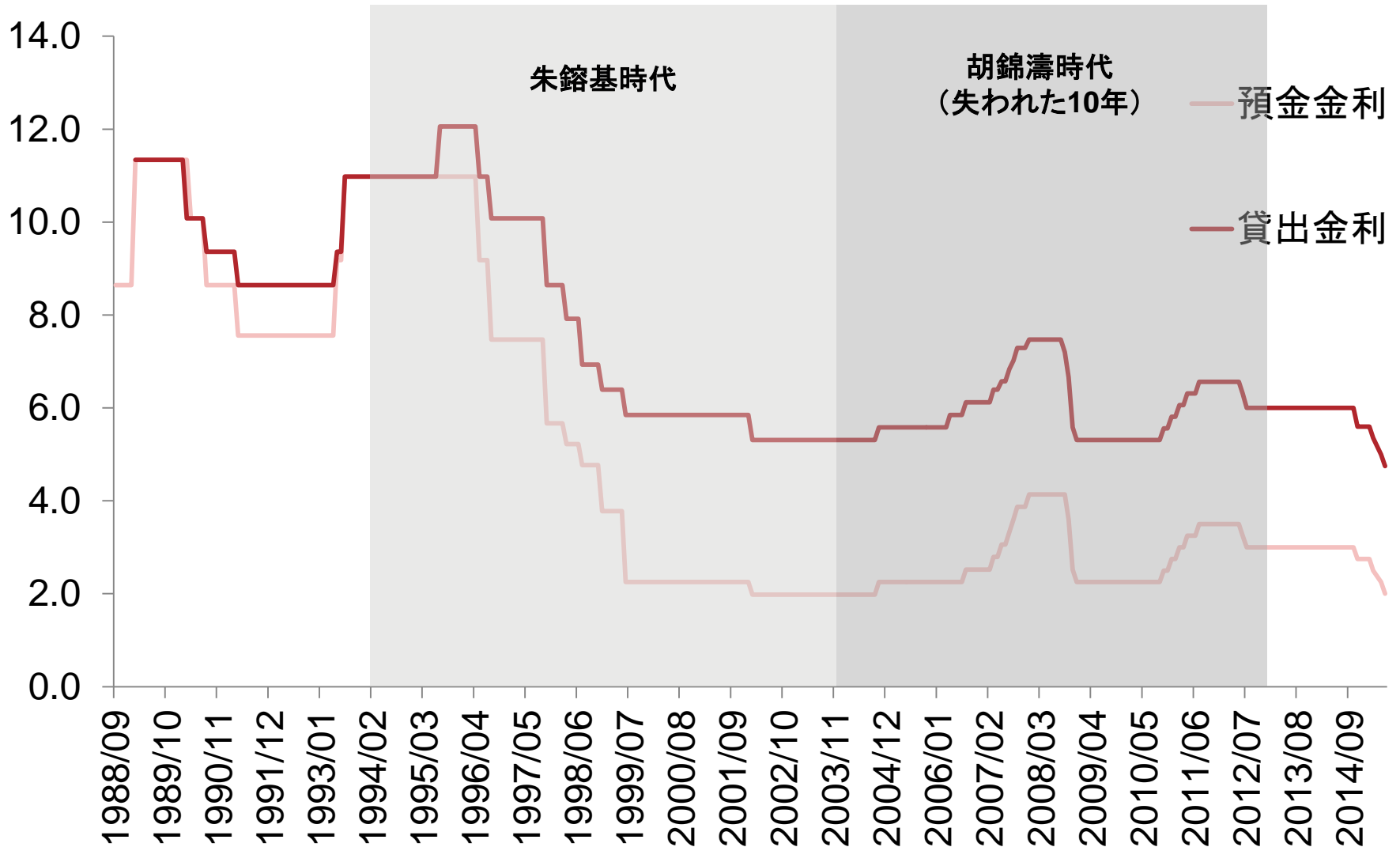
中国の外貨準備の推移(1989-2015年4月)



中国の預金準備率操作



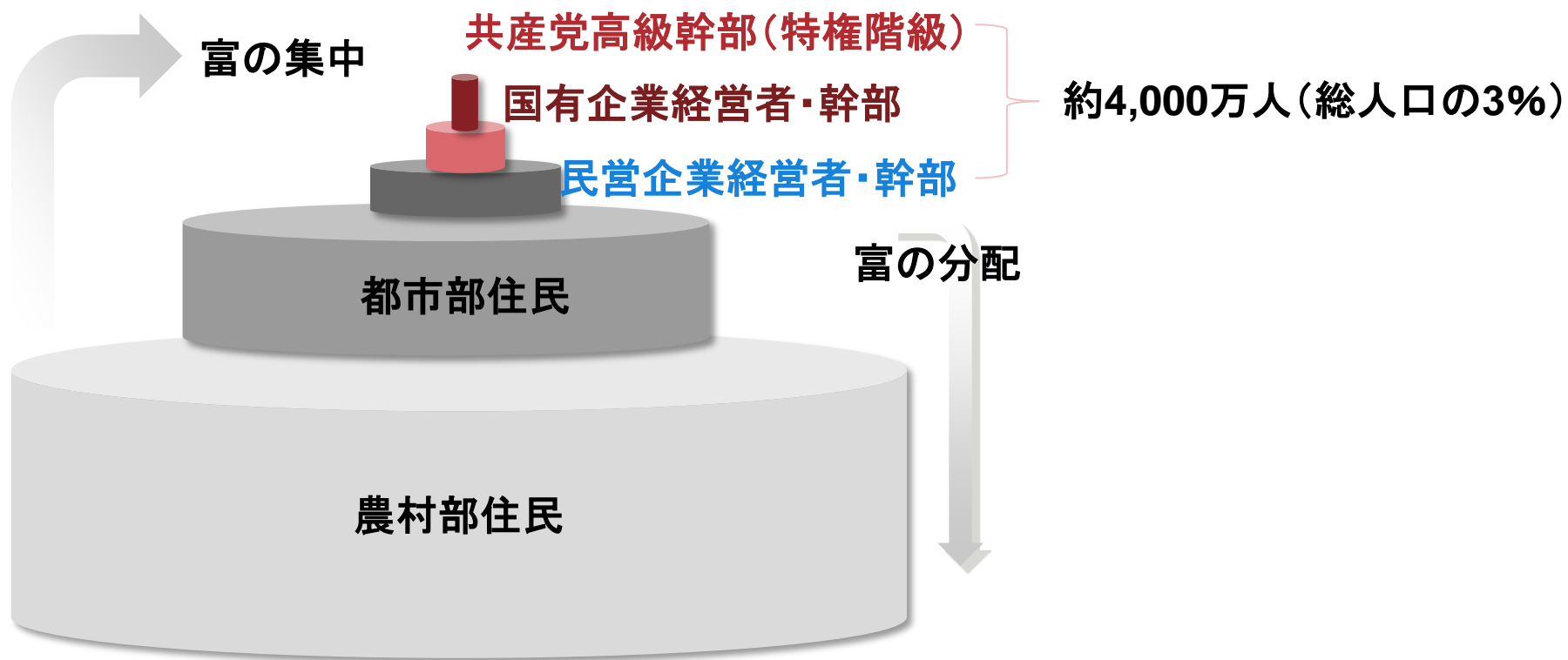
中国の預金金利と貸出金利の推移 (いずれも1年もの)



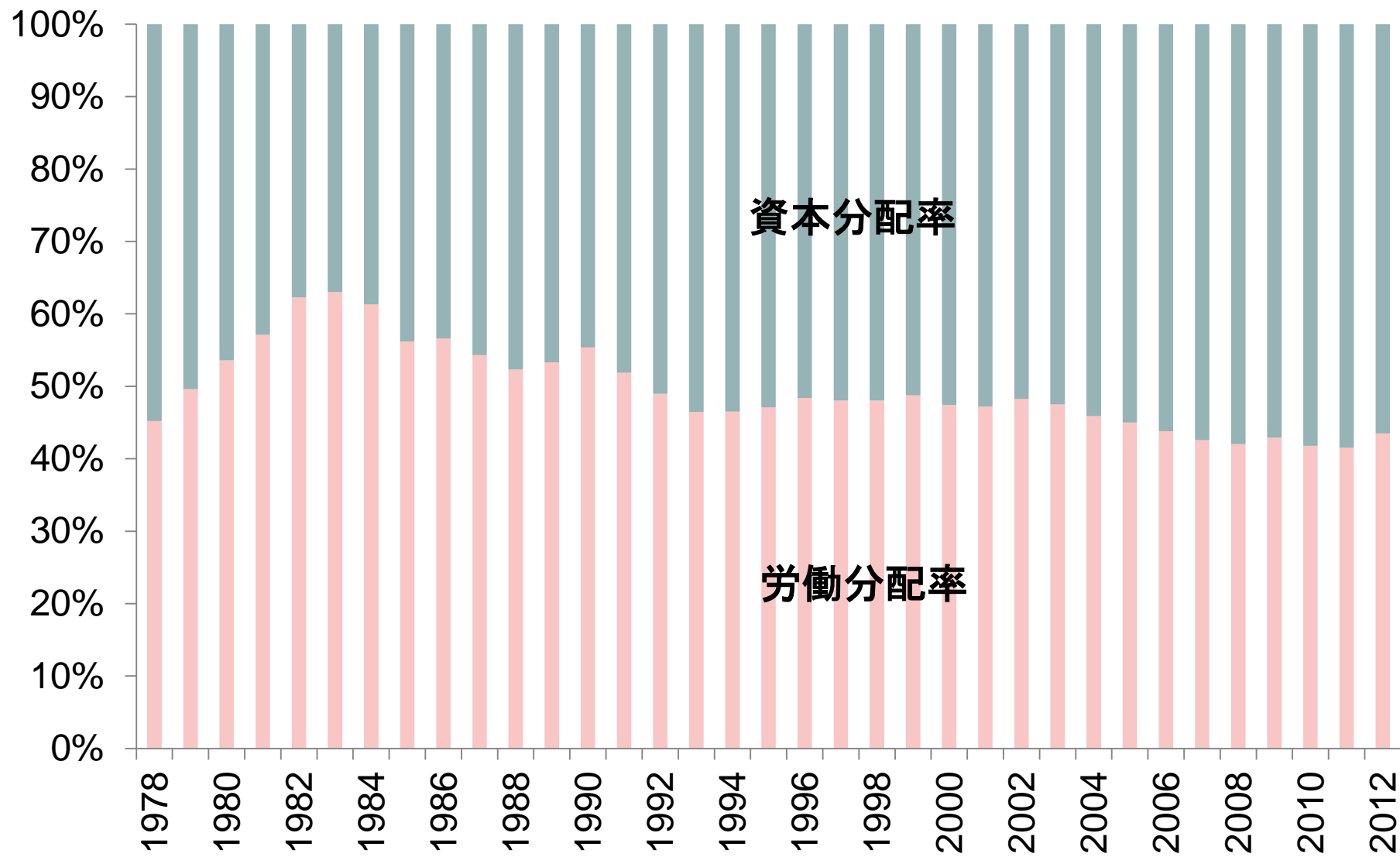
ジニ係数が示す所得格差の拡大



「戸口」—中国の身分制

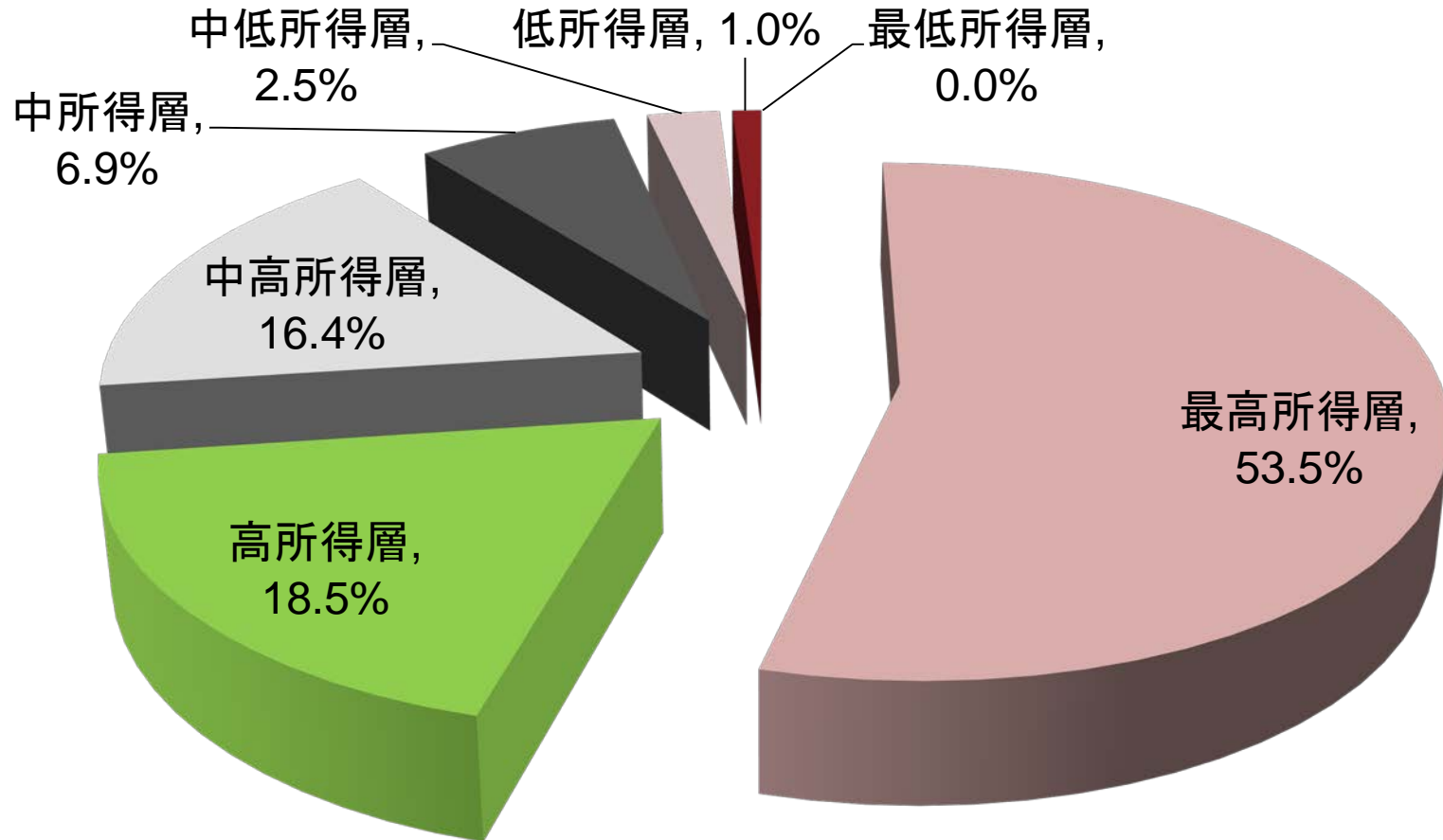


中国は社会主義国家？



- 賃金所得には、最高45%の所得税(累進制)
- 賃金所得以外の雑所得(移転所得や資産所得)には一律20%の所得税
- 相続税は導入されていない

2011年の灰色収入はGDPの12%相当



資料: 中国改革研究基金会・国民経済研究所

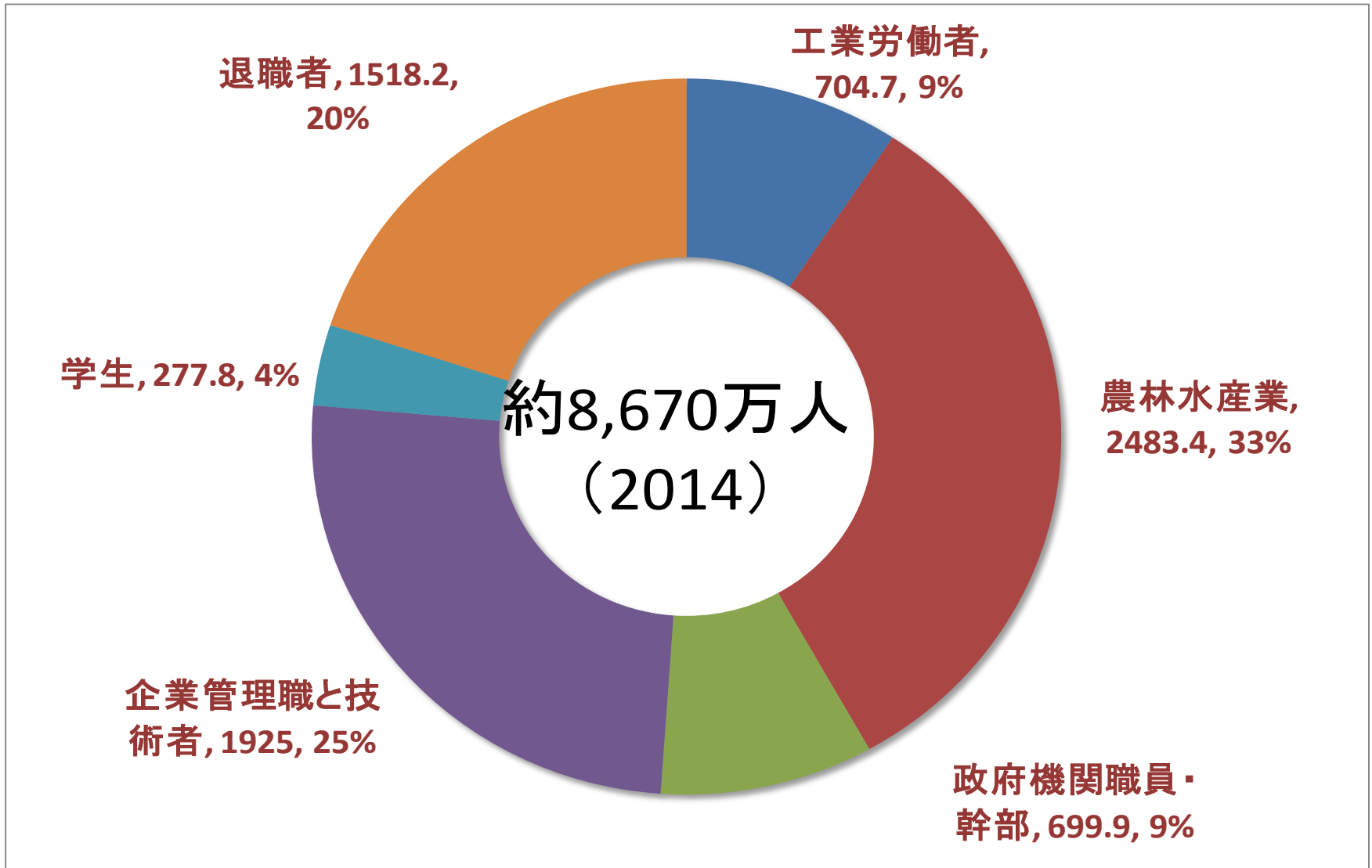


シカのような角をもちながらシカでない。ウシのような蹄をもちながらウシでない。ウマのような顔をもちながらウマでない。ロバのような尾をもちながらロバでない。

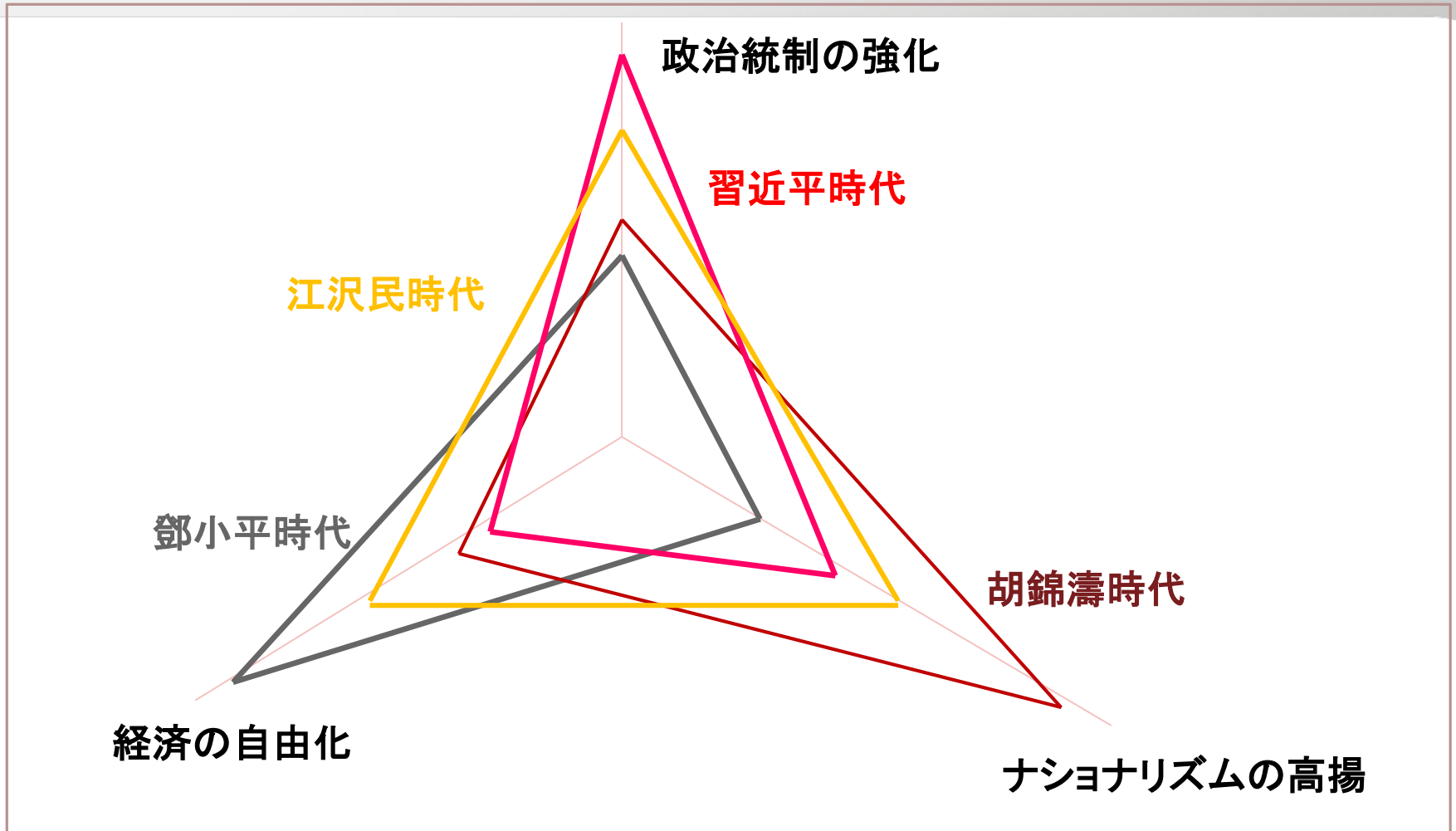
中国社会

農民は奴隷のような存在だが、奴隷社会ではない。王様のような特権階級がいるが、封建社会ではない。社会主義と自称しているが、平等ではないため、社会主義ではない。資本家がいるが、資本主義ではない。まるで、「四不像」(シフゾウ)のような怪物。


なぜ党員になろうとするのか



中国社会を見るための座標軸



①鄧小平時代において、政治統制を緩め、経済の自由化を進めた。②江沢民の時代は、鄧小平時代より当時統制を強化しはじめた。③胡錦濤時代は、カリスマ性が弱かったため、ナショナリズムを高揚させた。④習近平政権では、政治統制をあまりにも強化している結果経済の自由化は大幅に後退している。



FUJITSU

shaping tomorrow with you